

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 関東財務局長

【提出日】 2024年5月14日

【四半期会計期間】 第20期第2四半期(自 2024年1月1日 至 2024年3月31日)

【会社名】 P C I ホールディングス株式会社

【英訳名】 P C I H o l d i n g s , I N C .

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 横山 邦男

【本店の所在の場所】 東京都港区虎ノ門一丁目21番19号

【電話番号】 ( 0 3 ) 6 8 5 8 - 0 5 3 0 (代表)

【事務連絡者氏名】 取締役経営企画本部長 井口 直裕

【最寄りの連絡場所】 東京都港区虎ノ門一丁目21番19号

【電話番号】 ( 0 3 ) 6 8 5 8 - 0 5 3 0 (代表)

【事務連絡者氏名】 取締役経営企画本部長 井口 直裕

【縦覧に供する場所】 株式会社東京証券取引所  
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

## 第一部 【企業情報】

## 第1 【企業の概況】

## 1 【主要な経営指標等の推移】

| 回次                             | 第19期<br>第2四半期<br>連結累計期間      | 第20期<br>第2四半期<br>連結累計期間      | 第19期                         |
|--------------------------------|------------------------------|------------------------------|------------------------------|
| 会計期間                           | 自 2022年10月1日<br>至 2023年3月31日 | 自 2023年10月1日<br>至 2024年3月31日 | 自 2022年10月1日<br>至 2023年9月30日 |
| 売上高 (千円)                       | 14,258,595                   | 12,615,589                   | 28,491,409                   |
| 経常利益 (千円)                      | 894,247                      | 607,227                      | 1,774,760                    |
| 親会社株主に帰属する<br>四半期(当期)純利益 (千円)  | 503,861                      | 330,453                      | 1,008,213                    |
| 四半期包括利益又は包括利益 (千円)             | 585,072                      | 487,619                      | 1,211,690                    |
| 純資産額 (千円)                      | 8,705,168                    | 9,172,092                    | 9,098,650                    |
| 総資産額 (千円)                      | 17,924,526                   | 16,643,055                   | 17,627,554                   |
| 1株当たり四半期(当期)純利益 (円)            | 50.05                        | 33.19                        | 100.09                       |
| 潜在株式調整後1株当たり<br>四半期(当期)純利益 (円) | -                            | -                            | -                            |
| 自己資本比率 (%)                     | 45.5                         | 52.2                         | 48.7                         |
| 営業活動による<br>キャッシュ・フロー (千円)      | 606,852                      | 131,100                      | 2,039,576                    |
| 投資活動による<br>キャッシュ・フロー (千円)      | 695,076                      | 84,235                       | 259,434                      |
| 財務活動による<br>キャッシュ・フロー (千円)      | 218,059                      | 911,684                      | 884,562                      |
| 現金及び現金同等物の<br>四半期末(期末)残高 (千円)  | 2,310,989                    | 3,339,766                    | 4,035,208                    |

| 回次              | 第19期<br>第2四半期<br>連結会計期間     | 第20期<br>第2四半期<br>連結会計期間     |
|-----------------|-----------------------------|-----------------------------|
| 会計期間            | 自 2023年1月1日<br>至 2023年3月31日 | 自 2024年1月1日<br>至 2024年3月31日 |
| 1株当たり四半期純利益 (円) | 35.15                       | 21.68                       |

(注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載していません。

2. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益については、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため記載していません。

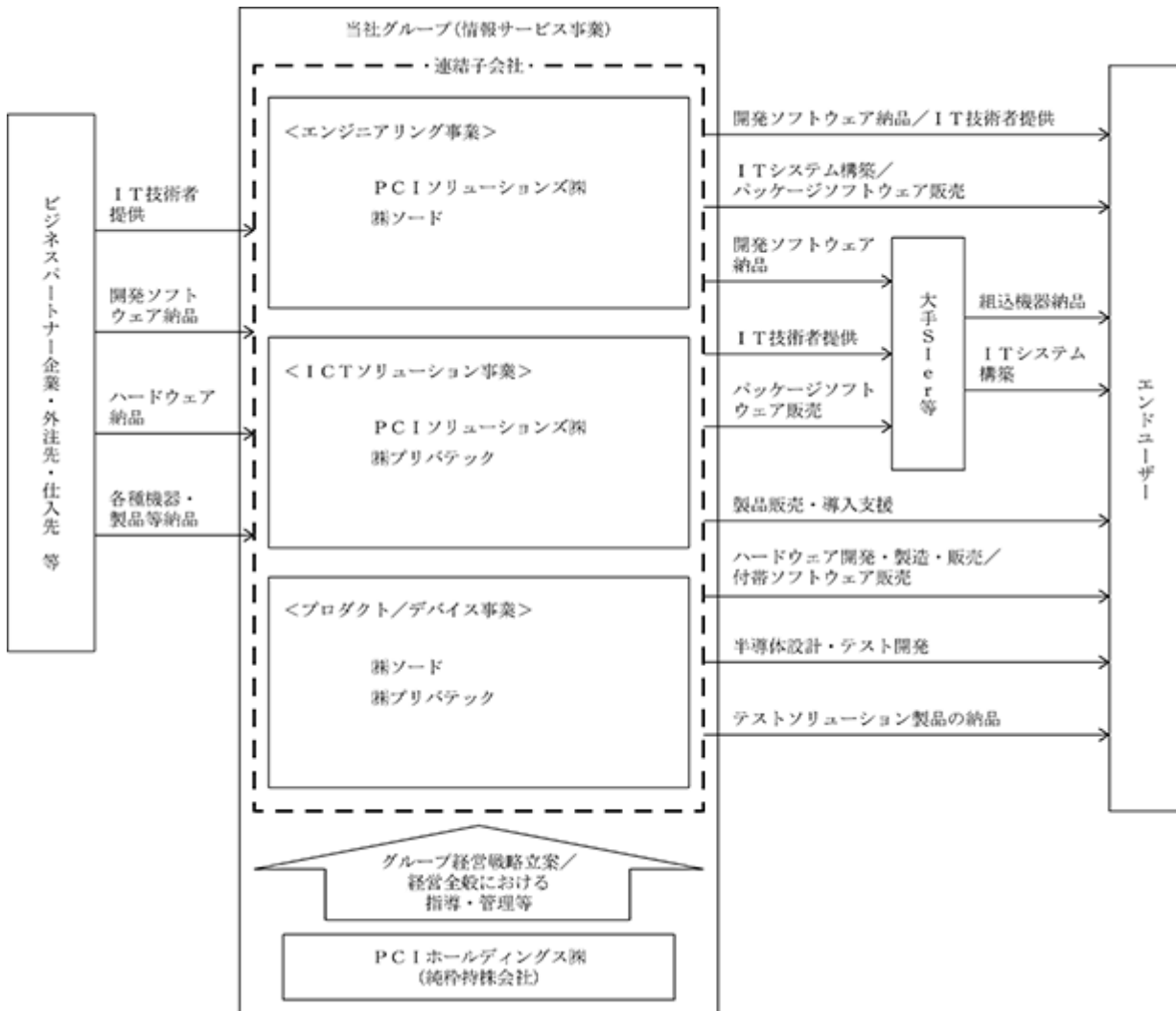
## 2 【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間において、当社グループ（当社及び当社の関係会社）が営む事業について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社についても異動はありません。

なお、第1四半期連結会計期間より、事業セグメントの区分方法を見直し、報告セグメントを従来の「ITソリューション事業」、「IoT/IoEソリューション事業」、「半導体トータルソリューション事業」の3区分から「エンジニアリング事業」、「プロダクト/デバイス事業」、「ICTソリューション事業」の3区分に変更しております。詳細は、「第4 経理の状況 1 四半期連結財務諸表 注記事項（セグメント情報等） セグメント情報」の「2. 報告セグメントの変更等に関する事項」をご参照ください。

### 〔事業系統図〕

以上述べた事項を事業系統図によって示すと次のとおりであります。



孫会社を除く

## 第2 【事業の状況】

### 1 【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間において、当四半期報告書に記載した事業の状況、経理の状況等に関する事項のうち、経営者が連結会社の財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況に重要な影響を与える可能性があるとして認識している主要なリスクの発生又は前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」についての重要な変更はありません。

### 2 【経営者による財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において判断したものであります。

#### (1) 経営成績・財政状態の分析

##### 業績の状況

当第2四半期連結累計期間（2023年10月1日～2024年3月31日）における我が国経済は、雇用・所得環境の改善やインバウンド需要の増加、日経平均株価史上最高値更新等、景気は緩やかな回復基調となりました。一方で、地政学リスクの長期化や継続的な円安、金融資本市場の変動等の影響もあり、依然として先行き不透明な状況下で推移いたしました。

当社グループが属する情報サービス産業におきましては、社会全体で進展しているデジタル化や、進展が著しい生成AI等の先端技術を活用したDX推進を背景にIT投資需要は堅調に推移いたしました。しかしながら、IT人材不足は常態化しており、特に先端IT人材の確保とリスクリングによる技術力向上が課題となっております。

このような状況下において、当社グループは、2023年11月15日に公表いたしました当事業年度を初年度とする3ヶ年の中期経営計画「PCI-VISION 2026」に基づき、既存事業の深化とともに持続的成長及び収益の「質」向上を目指し、「パーパス経営の実践」「高収益体質へのシフト」「人的資本経営の高度化」「サステナブル経営の深化」これら4項目を基本コンセプトとした事業活動を推進してまいりました。しかしながら、前事業年度において株式会社りーふねっとの全株式を売却し、同社が連結から除外されたこと、前連結会計年度の2023年2月に連結対象となった子会社（孫会社）収益計上の特殊要因等により、売上高・各段階利益ともに前年同期には至りませんでした。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は12,615百万円（前年同期比11.5%減）、営業利益は583百万円（前年同期比33.3%減）、経常利益は607百万円（前年同期比32.1%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は330百万円（前年同期比34.4%減）となりました。

セグメント別の概況は、次のとおりであります。

なお、第1四半期連結会計期間より、セグメントを従来の「ITソリューション事業」「IoT/IoEソリューション事業」「半導体トータルソリューション事業」から、「エンジニアリング事業」「プロダクト/デバイス事業」「ICTソリューション事業」の3つのセグメントに変更しております。

以下の売上高及びセグメント利益の前年同期比は、前期首にセグメント変更があったものとみなして算定しております。

#### （エンジニアリング事業）

エンジニアリング事業につきましては、売上高は6,780百万円（前年同期比5.6%増）となり、セグメント利益は591百万円（前年同期比2.2%減）となりました。

エンベデッド分野において、特に自動車関連におけるAUTOSAR（1）関連やBEV（2）関連開発の引き合いが強く、積極的な技術者シフト等、モビリティ案件拡大に注力したことにより好調に推移いたしました。また、エンタープライズ分野においては、企業の継続的なデジタル化・DXの推進加速を背景に、産業・流通向けソフトウェア開発案件が好調に推移した一方、一部案件において進捗の遅れが発生したこと等もあり、セグメント利益は前年同期比減となりました。

(プロダクト/デバイス事業)

プロダクト/デバイス事業につきましては、売上高は4,537百万円(前年同期比15.0%減)となり、セグメント利益は262百万円(前年同期比71.5%増)となりました。

組込P C /コントローラ分野につきましては、計画見込んでいた通り、顧客企業の一時的な在庫統制や前期の大量納品案件の剥落、低採算案件の縮小により売上高は前期に比べて減少いたしました。また、特定用途向けコンパクトP Cの新製品開発に注力いたしました。半導体設計・テスト分野につきましては、車載やインフラ、I o T等に係る半導体潜在需要は引き続き底堅く、概ね堅調に推移いたしました。

(ICTソリューション事業)

ICTソリューション事業につきましては、売上高1,356百万円(前年同期比47.0%減)となり、セグメント利益は111百万円(前年同期比77.5%減)となりました。

I o Tソリューション分野では受託開発案件が堅調に推移いたしました。ソリューション分野では、自社開発生鮮流通向けソリューションの販売及びプラットフォーム関連の構築案件が売上に寄与いたしました。しかしながら、メインフレーム系ソリューションについては、主力商材の販売が概ね計画通りであったものの、高利益率のスポット大型案件を受注した前年同期には至らず減収・減益となりました。また、前連結会計年度において株式会社リーふねっとの全株式を売却したことから当セグメントにおける業績の剥落により、売上高及びセグメント利益ともに減少いたしました。

(注)上記に用いられる用語の説明は以下のとおりであります。

( 1 ) A U T O S A R : ( A U T o m o t i v e O p e n S y s t e m A R c h i t e c t u r e )

自動車業界のソフトウェア開発の効率化を図るために、車載ソフトウェア開発の共通化を目指したプラットフォームのこと。

( 2 ) B E V : ( B a t t e r y E l e c t r i c V e h i c l e )

バッテリー式電気自動車。外部から充電した電気を動力源としてモーター走行する自動車のこと。

財政状態の分析

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における資産合計は16,643百万円となり、前連結会計年度末に比べ984百万円減少いたしました。

流動資産につきましては、現金及び預金714百万円、受取手形、売掛金及び契約資産211百万円の減少等により、前連結会計年度末に比べ819百万円の減少となりました。

固定資産につきましては、有形固定資産26百万円の増加、無形固定資産96百万円の減少、投資その他の資産94百万円の減少により、前連結会計年度末に比べ164百万円の減少となりました。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における負債合計は7,470百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,057百万円減少いたしました。

流動負債につきましては、買掛金105百万円、1年内返済予定の長期借入金241百万円、賞与引当金155百万円、その他147百万円の減少等により、前連結会計年度末に比べ818百万円の減少となりました。

固定負債につきましては、長期借入金229百万円の減少等により、前連結会計年度末に比べ239百万円の減少となりました。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は9,172百万円となり、前連結会計年度末に比べ73百万円増加いたしました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益330百万円、その他有価証券評価差額金152百万円の増加の一方で、配当金の支払171百万円、自己株式の取得199百万円による減少等があったことによるものであります。

この結果、自己資本比率は52.2%（前連結会計年度末は48.7%）となりました。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ695百万円減少し、3,339百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動により獲得した資金は131百万円（前第2四半期連結累計期間は606百万円の収入）となりました。

これは主に、税金等調整前四半期純利益613百万円を計上した一方で、賞与引当金の減少額155百万円、法人税等の支払額270百万円があったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動により獲得した資金は84百万円（前第2四半期連結累計期間は695百万円の支出）となりました。

これは主に、投資有価証券の売却による収入70百万円があったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動により使用した資金は911百万円（前第2四半期連結累計期間は218百万円の支出）となりました。

これは主に、長期借入金の返済による支出470百万円、自己株式の取得による支出199百万円、配当金の支払額171百万円があったことによるものであります。

(3) 会計上の見積り及び当該見積りに用いた仮定

前事業年度の有価証券報告書に記載した「経営者による財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析」中の重要な会計上の見積り及び当該見積りに用いた仮定の記載について重要な変更はありません。

(4) 経営方針・経営戦略等

当第2四半期連結累計期間において、当社グループが定めている経営方針・経営戦略等について重要な変更はありません。

(5) 優先的に対処すべき事業上及び財務上の課題

当第2四半期連結累計期間において、優先的に対処すべき事業上及び財務上の課題に重要な変更及び新たに生じた課題はありません。

(6) 研究開発活動

当第2四半期連結累計期間におけるグループ全体の研究開発活動の金額は、151百万円であります。

なお、当第2四半期連結累計期間において、当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

3 【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

### 第3 【提出会社の状況】

#### 1 【株式等の状況】

##### (1) 【株式の総数等】

###### 【株式の総数】

| 種類   | 発行可能株式総数(株) |
|------|-------------|
| 普通株式 | 20,000,000  |
| 計    | 20,000,000  |

###### 【発行済株式】

| 種類   | 第2四半期会計期間末<br>現在発行数(株)<br>(2024年3月31日) | 提出日現在<br>発行数(株)<br>(2024年5月14日) | 上場金融商品取引所<br>名又は登録認可金融<br>商品取引業協会名 | 内容  |
|------|--|---------------------------------|------------------------------------|---|
| 普通株式 | 10,122,400                             | 10,122,400                      | 東京証券取引所<br>スタンダード市場                | 完全議決権株式であり、権利内容に何ら限定のない当社における標準となる株式であります。なお、単元株式数は100株であります。 |
| 計    | 10,122,400                             | 10,122,400                      |                                    |   |

(注) 「提出日現在発行数」欄には、2024年5月1日からこの四半期報告書提出日までの新株予約権の行使により発行された株式数は含まれておりません。

##### (2) 【新株予約権等の状況】

###### 【ストックオプション制度の内容】

該当事項はありません。

###### 【その他の新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

##### (3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

##### (4) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

| 年月日                      | 発行済株式<br>総数増減数<br>(株) | 発行済株式<br>総数残高<br>(株) | 資本金増減額<br>(千円) | 資本金残高<br>(千円) | 資本準備金<br>増減額<br>(千円) | 資本準備金<br>残高<br>(千円) |
|--------------------------|-----------------------|----------------------|----------------|---------------|----------------------|---------------------|
| 2024年1月1日～<br>2024年3月31日 |                       | 10,122,400           |                | 2,091,897     |                      | 3,527,532           |

## (5) 【大株主の状況】

2024年3月31日現在

| 氏名又は名称                      | 住所                    | 所有株式数<br>(株) | 発行済株式<br>(自己株式を<br>除く。)の<br>総数に対する<br>所有株式数<br>の割合(%) |
|-----------------------------|-----------------------|--------------|---|
| 日本マスタートラスト信託銀行株式会社<br>(信託口) | 東京都港区赤坂一丁目8番1号        | 605,800      | 6.12  |
| 株式会社レスターホールディングス            | 東京都港区港南二丁目10番9号       | 585,000      | 5.91  |
| 株式会社Y & U                   | 東京都千代田区神田神保町二丁目10番14号 | 565,800      | 5.71  |
| P C I ホールディングス従業員持株会        | 東京都港区虎ノ門一丁目21番19号     | 543,819      | 5.49  |
| 関谷 恵美                       | 東京都新宿区                | 319,600      | 3.23  |
| 岡 丈詞                        | 大阪府柏原市                | 243,500      | 2.46  |
| 株式会社三菱総合研究所                 | 東京都千代田区永田町二丁目10番3号    | 192,000      | 1.94  |
| 上田八木短資株式会社                  | 大阪府大阪市中央区高麗橋二丁目4番2号   | 190,000      | 1.92  |
| 宮本 公                        | 東京都江戸川区               | 161,600      | 1.63  |
| 株式会社イデアス                    | 東京都港区愛宕一丁目6番8号        | 140,000      | 1.41  |
| 計                           |                       | 3,547,119    | 35.81   |

(注) 上記日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)の所有株式数のうち信託業務に係る株式数は605,800株であります。なおその内訳は、投資信託設定分373,100株、年金信託設定分1,200株、その他信託分231,500株となっております。



## (6) 【議決権の状況】

## 【発行済株式】

2024年3月31日現在

| 区分             | 株式数(株)            | 議決権の数(個) | 内容 |
|----------------|-------------------|----------|----|
| 無議決権株式         |                   |          |    |
| 議決権制限株式(自己株式等) |                   |          |    |
| 議決権制限株式(その他)   |                   |          |    |
| 完全議決権株式(自己株式等) | 普通株式<br>217,600   |          |    |
| 完全議決権株式(その他)   | 普通株式<br>9,898,500 | 98,985   |    |
| 単元未満株式         | 普通株式<br>6,300     |          |    |
| 発行済株式総数        | 10,122,400        |          |    |
| 総株主の議決権        |                   | 98,985   |    |

(注) 単元未満株式欄には、当社保有の自己株式95株が含まれております。

## 【自己株式等】

2024年3月31日現在

| 所有者の氏名<br>又は名称        | 所有者の住所                | 自己名義<br>所有株式数<br>(株) | 他人名義<br>所有株式数<br>(株) | 所有株式数<br>の合計<br>(株) | 発行済株式<br>総数に対する<br>所有株式数<br>の割合(%) |
|-----------------------|-----------------------|----------------------|----------------------|---------------------|------------------------------------|
| P C Iホールディングス<br>株式会社 | 東京都港区虎ノ門一丁目<br>21番19号 | 217,600              | -                    | 217,600             | 2.15                               |
| 計                     |                       | 217,600              | -                    | 217,600             | 2.15                               |

(注) 上記の他、単元未満株式95株を自己名義で所有しております。

## 2 【役員の状況】

該当事項はありません。

## 第4 【経理の状況】

### 1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第64号)に基づいて作成しております。

### 2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間(2024年1月1日から2024年3月31日まで)及び第2四半期連結累計期間(2023年10月1日から2024年3月31日まで)に係る四半期連結財務諸表について、三優監査法人による四半期レビューを受けております。

## 1 【四半期連結財務諸表】

## (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

|                | 前連結会計年度<br>(2023年9月30日) | 当第2四半期連結会計期間<br>(2024年3月31日) |
|----------------|-------------------------|------------------------------|
| <b>資産の部</b>    |                         |                              |
| 流動資産           |                         |                              |
| 現金及び預金         | 4,108,259               | 3,393,817                    |
| 受取手形、売掛金及び契約資産 | 4,751,694               | 4,540,165                    |
| 電子記録債権         | 1,698,818               | 1,715,012                    |
| 棚卸資産           | <sup>1</sup> 1,347,537  | <sup>1</sup> 1,372,957       |
| その他            | <sup>2</sup> 599,358    | <sup>2</sup> 663,803         |
| 流動資産合計         | 12,505,669              | 11,685,756                   |
| 固定資産           |                         |                              |
| 有形固定資産         | 854,696                 | 881,089                      |
| 無形固定資産         |                         |                              |
| のれん            | 1,779,769               | 1,689,082                    |
| その他            | 67,652                  | 61,857                       |
| 無形固定資産合計       | 1,847,422               | 1,750,940                    |
| 投資その他の資産       | <sup>2</sup> 2,418,442  | <sup>2</sup> 2,324,155       |
| 固定資産合計         | 5,120,561               | 4,956,185                    |
| 繰延資産           | 1,322                   | 1,113                        |
| 資産合計           | 17,627,554              | 16,643,055                   |
| <b>負債の部</b>    |                         |                              |
| 流動負債           |                         |                              |
| 買掛金            | 2,057,500               | 1,951,590                    |
| 電子記録債務         | 927,572                 | 891,348                      |
| 1年内償還予定の社債     | 30,000                  | 30,000                       |
| 1年内返済予定の長期借入金  | 803,570                 | 562,070                      |
| 未払金            | 513,206                 | 469,250                      |
| 未払法人税等         | 284,256                 | 208,472                      |
| 賞与引当金          | 546,178                 | 390,619                      |
| 役員賞与引当金        | 15,030                  | 13,912                       |
| 受注損失引当金        | -                       | 1,009                        |
| 資産除去債務         | 12,632                  | -                            |
| その他            | 1,808,347               | 1,661,248                    |
| 流動負債合計         | 6,998,293               | 6,179,521                    |
| 固定負債           |                         |                              |
| 社債             | 75,000                  | 60,000                       |
| 長期借入金          | 680,892                 | 451,524                      |
| 役員退職慰労引当金      | 47,410                  | 37,000                       |
| 退職給付に係る負債      | 155,844                 | 148,526                      |
| 資産除去債務         | 467,411                 | 468,646                      |
| その他            | 104,050                 | 125,745                      |
| 固定負債合計         | 1,530,609               | 1,291,441                    |
| 負債合計           | 8,528,903               | 7,470,962                    |

(単位：千円)

|               | 前連結会計年度<br>(2023年9月30日) | 当第2四半期連結会計期間<br>(2024年3月31日) |
|---------------|-------------------------|------------------------------|
| <b>純資産の部</b>  |                         |                              |
| 株主資本          |                         |                              |
| 資本金           | 2,091,897               | 2,091,897                    |
| 資本剰余金         | 3,667,601               | 3,516,644                    |
| 利益剰余金         | 3,075,602               | 3,134,657                    |
| 自己株式          | 317,778                 | 257,544                      |
| 株主資本合計        | 8,517,322               | 8,485,656                    |
| その他の包括利益累計額   |                         |                              |
| その他有価証券評価差額金  | 139,846                 | 291,985                      |
| 退職給付に係る調整累計額  | 70,060                  | 91,234                       |
| その他の包括利益累計額合計 | 69,785                  | 200,750                      |
| 新株予約権         | 40,677                  | 41,939                       |
| 非支配株主持分       | 470,865                 | 443,746                      |
| 純資産合計         | 9,098,650               | 9,172,092                    |
| 負債純資産合計       | 17,627,554              | 16,643,055                   |

## (2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

## 【四半期連結損益計算書】

## 【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

|                  | 前第2四半期連結累計期間<br>(自 2022年10月1日<br>至 2023年3月31日) | 当第2四半期連結累計期間<br>(自 2023年10月1日<br>至 2024年3月31日) |
|------------------|--|--|
| 売上高              | 14,258,595                                     | 12,615,589                                     |
| 売上原価             | 10,896,202                                     | 9,692,395                                      |
| 売上総利益            | 3,362,392                                      | 2,923,194                                      |
| 販売費及び一般管理費       | 2,487,082                                      | 2,339,765                                      |
| 営業利益             | 875,310  | 583,428  |
| 営業外収益            |  |  |
| 受取利息及び配当金        | 17,688   | 21,702   |
| 投資事業組合運用益        | 883  | -  |
| 助成金収入            | 1,644  | 3,710  |
| その他              | 4,119  | 14,182   |
| 営業外収益合計          | 24,336   | 39,594   |
| 営業外費用            |  |  |
| 支払利息             | 3,627  | 3,144  |
| 支払手数料            | 249  | 6,380  |
| 投資事業組合運用損        | -  | 4,554  |
| その他              | 1,522  | 1,716  |
| 営業外費用合計          | 5,399  | 15,795   |
| 経常利益             | 894,247  | 607,227  |
| 特別利益             |  |  |
| 投資有価証券売却益        | -  | 22,004   |
| 特別利益合計           | -  | 22,004   |
| 特別損失             |  |  |
| 固定資産除却損          | 3,483  | 8,434  |
| 投資有価証券評価損        | -  | 7,424  |
| 特別損失合計           | 3,483  | 15,858   |
| 税金等調整前四半期純利益     | 890,764  | 613,373  |
| 法人税、住民税及び事業税     | 270,072  | 168,011  |
| 法人税等調整額          | 69,367   | 88,708   |
| 法人税等合計           | 339,439  | 256,719  |
| 四半期純利益           | 551,324  | 356,654  |
| 非支配株主に帰属する四半期純利益 | 47,462   | 26,200   |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益 | 503,861  | 330,453  |

## 【四半期連結包括利益計算書】

## 【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

|                 | 前第2四半期連結累計期間<br>(自 2022年10月1日<br>至 2023年3月31日) | 当第2四半期連結累計期間<br>(自 2023年10月1日<br>至 2024年3月31日) |
|-----------------|--|--|
| 四半期純利益          | 551,324  | 356,654  |
| その他の包括利益        |  |  |
| その他有価証券評価差額金    | 57,096   | 152,139  |
| 退職給付に係る調整額      | 23,348   | 21,174   |
| その他の包括利益合計      | 33,748   | 130,964  |
| 四半期包括利益         | 585,072  | 487,619  |
| (内訳)            |  |  |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 537,610  | 461,418  |
| 非支配株主に係る四半期包括利益 | 47,462   | 26,200   |

## (3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

|                          | 前第2四半期連結累計期間<br>(自 2022年10月1日<br>至 2023年3月31日) | 当第2四半期連結累計期間<br>(自 2023年10月1日<br>至 2024年3月31日) |
|--------------------------|--|--|
| <b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>  |  |  |
| 税金等調整前四半期純利益             | 890,764  | 613,373  |
| 減価償却費                    | 82,133   | 74,351   |
| のれん償却額                   | 98,843   | 90,687   |
| 賞与引当金の増減額(は減少)           | 39,928   | 155,559  |
| 役員賞与引当金の増減額(は減少)         | 5,311  | 1,118  |
| 役員退職慰労引当金の増減額(は減少)       | 8,488  | 10,410   |
| 投資有価証券売却損益(は益)           | -  | 22,004   |
| 投資有価証券評価損益(は益)           | -  | 7,424  |
| 投資事業組合運用損益(は益)           | 883  | 4,554  |
| 受取利息及び受取配当金              | 17,688   | 21,702   |
| 助成金収入                    | 1,644  | 3,710  |
| 支払利息                     | 3,627  | 3,144  |
| 売上債権及び契約資産の増減額(は増加)      | 593,134  | 192,460  |
| 棚卸資産の増減額(は増加)            | 245,312  | 25,419   |
| 未収入金の増減額(は増加)            | 213,696  | 37,533   |
| 仕入債務の増減額(は減少)            | 282,523  | 142,133  |
| 未払金の増減額(は減少)             | 45,367   | 54,268   |
| 未払消費税等の増減額(は減少)          | 88,709   | 114,175  |
| 契約負債の増減額(は減少)            | 122,476  | 14,112   |
| 退職給付に係る調整額の増減額(は増加)      | 33,652   | 30,519   |
| その他                      | 30,024   | 46,920   |
| 小計                       | 884,620  | 334,633  |
| 利息及び配当金の受取額              | 17,688   | 21,701   |
| 利息の支払額                   | 3,441  | 2,779  |
| 助成金の受取額                  | 1,644  | 3,710  |
| 法人税等の支払額                 | 336,239  | 270,908  |
| 法人税等の還付額                 | 42,579   | 44,743   |
| <b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>  | <b>606,852</b>                                 | <b>131,100</b>                                 |
| <b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>  |  |  |
| 有形固定資産の取得による支出           | 60,142   | 75,445   |
| 無形固定資産の取得による支出           | 42,455   | 14,744   |
| 投資有価証券の取得による支出           | 63,998   | -  |
| 投資有価証券の売却による収入           | -  | 70,900   |
| 貸付金の回収による収入              | 20,535   | 21,160   |
| 連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出 | 517,109  | -  |
| 敷金及び保証金の差入による支出          | 29,941   | 464  |
| 敷金及び保証金の回収による収入          | 222  | 61,121   |
| 保険積立金の積立による支出            | 3,459  | 2,686  |
| 定期預金の純増減額(は増加)           | 3,600  | 18,999   |
| その他                      | 4,874  | 5,393  |
| <b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>  | <b>695,076</b>                                 | <b>84,235</b>                                  |

(単位：千円)

|                    | 前第2四半期連結累計期間<br>(自 2022年10月1日<br>至 2023年3月31日) | 当第2四半期連結累計期間<br>(自 2023年10月1日<br>至 2024年3月31日) |
|--------------------|--|--|
| 財務活動によるキャッシュ・フロー   |  |  |
| 短期借入金の純増減額（は減少）    | 10,000   | -  |
| 長期借入れによる収入         | 527,000  | -  |
| 長期借入金の返済による支出      | 456,862  | 470,868  |
| 社債の償還による支出         | -  | 15,000   |
| 自己株式の取得による支出       | -  | 199,920  |
| 配当金の支払額            | 160,568  | 171,172  |
| 非支配株主への配当金の支払額     | 116,234  | 53,319   |
| その他                | 1,394  | 1,404  |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー   | 218,059  | 911,684  |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額   | 651  | 907  |
| 現金及び現金同等物の増減額（は減少） | 306,935  | 695,442  |
| 現金及び現金同等物の期首残高     | 2,617,924                                      | 4,035,208                                      |
| 現金及び現金同等物の四半期末残高   | 2,310,989                                      | 3,339,766                                      |



【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

1 棚卸資産の内訳は次のとおりであります。

|          | 前連結会計年度<br>(2023年9月30日) | 当第2四半期連結会計期間<br>(2024年3月31日) |
|----------|-------------------------|------------------------------|
| 商品及び製品   | 199,397千円               | 256,637千円                    |
| 原材料及び貯蔵品 | 938,346                 | 818,195                      |
| 仕掛品      | 209,793                 | 298,124                      |

2 資産の金額から直接控除している貸倒引当金の額

|           | 前連結会計年度<br>(2023年9月30日) | 当第2四半期連結会計期間<br>(2024年3月31日) |
|-----------|-------------------------|------------------------------|
| 流動資産(その他) | 643千円                   | 634千円                        |
| 投資その他の資産  | 405                     | 405                          |

3 当社は、資本効率の向上を図りつつ、必要な時に運転資金の効率的な調達を行うため、取引銀行4行と当座貸越契約を締結しております。この契約に基づく借入未実行残高等は次のとおりであります。

|            | 前連結会計年度<br>(2023年9月30日) | 当第2四半期連結会計期間<br>(2024年3月31日) |
|------------|-------------------------|------------------------------|
| 当座貸越極度額の総額 | 5,200,000千円             | 5,200,000千円                  |
| 借入実行残高     | -                       | -                            |
| 差引額        | 5,200,000               | 5,200,000                    |

(四半期連結損益計算書関係)

販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりであります。

|            | 前第2四半期連結累計期間<br>(自 2022年10月1日<br>至 2023年3月31日) | 当第2四半期連結累計期間<br>(自 2023年10月1日<br>至 2024年3月31日) |
|------------|--|--|
| 役員報酬       | 205,487千円                                      | 197,168千円                                      |
| 給与手当       | 766,933  | 796,321  |
| 退職給付費用     | 11,009   | 17,002   |
| 賞与引当金繰入額   | 78,635   | 52,819   |
| 役員賞与引当金繰入額 | 6,961  | 7,823  |

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係は下記のとおりであります。

|                      | 前第2四半期連結累計期間<br>(自 2022年10月1日<br>至 2023年3月31日) | 当第2四半期連結累計期間<br>(自 2023年10月1日<br>至 2024年3月31日) |
|----------------------|--|--|
| 現金及び預金勘定             | 2,432,562千円                                    | 3,393,817千円                                    |
| 預入期間が3か月を超える<br>定期預金 | 121,573  | 54,051   |
| 現金及び現金同等物            | 2,310,989                                      | 3,339,766                                      |

(株主資本等関係)

前第2四半期連結累計期間(自 2022年10月1日 至 2023年3月31日)

1. 配当金支払額

| (決議)                  | 株式の種類 | 配当金の総額<br>(千円) | 1株当たり<br>配当額(円) | 基準日        | 効力発生日       | 配当の原資 |
|-----------------------|-------|----------------|-----------------|------------|-------------|-------|
| 2022年12月21日<br>定時株主総会 | 普通株式  | 161,000        | 16              | 2022年9月30日 | 2022年12月22日 | 利益剰余金 |

2. 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間の末日  
後となるもの

| (決議)              | 株式の種類 | 配当金の総額<br>(千円) | 1株当たり<br>配当額(円) | 基準日        | 効力発生日     | 配当の原資 |
|-------------------|-------|----------------|-----------------|------------|-----------|-------|
| 2023年5月9日<br>取締役会 | 普通株式  | 161,248        | 16              | 2023年3月31日 | 2023年6月9日 | 利益剰余金 |

当第2四半期連結累計期間(自 2023年10月1日 至 2024年3月31日)

1. 配当金支払額

| (決議)                  | 株式の種類 | 配当金の総額<br>(千円) | 1株当たり<br>配当額(円) | 基準日        | 効力発生日       | 配当の原資 |
|-----------------------|-------|----------------|-----------------|------------|-------------|-------|
| 2023年12月20日<br>定時株主総会 | 普通株式  | 171,319        | 17              | 2023年9月30日 | 2023年12月21日 | 利益剰余金 |

2. 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間の末日  
後となるもの

| (決議)              | 株式の種類 | 配当金の総額<br>(千円) | 1株当たり<br>配当額(円) | 基準日        | 効力発生日      | 配当の原資 |
|-------------------|-------|----------------|-----------------|------------|------------|-------|
| 2024年5月9日<br>取締役会 | 普通株式  | 168,379        | 17              | 2024年3月31日 | 2024年6月10日 | 利益剰余金 |

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自 2022年10月1日 至 2023年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

|                       | 報告セグメント        |                  |                        |            | 調整額<br>(注)1 | 四半期連結<br>損益計算書<br>計上額<br>(注)2 |
|-----------------------|----------------|------------------|------------------------|------------|-------------|-------------------------------|
|                       | エンジニア<br>リング事業 | プロダクト/<br>デバイス事業 | I C Tソ<br>リユーション<br>事業 | 計          |             |                               |
| 売上高                   |                |                  |                        |            |             |                               |
| 外部顧客への売上高             | 6,389,695      | 5,334,063        | 2,534,836              | 14,258,595 | -           | 14,258,595                    |
| セグメント間の内部売上高<br>又は振替高 | 29,693         | 3,900            | 23,405                 | 56,999     | 56,999      | -                             |
| 計                     | 6,419,388      | 5,337,963        | 2,558,242              | 14,315,594 | 56,999      | 14,258,595                    |
| セグメント利益               | 604,335        | 152,909          | 494,991                | 1,252,236  | 376,925     | 875,310                       |

(注) 1. セグメント利益の調整額 376,925千円には、のれんの償却額 98,843千円、各報告セグメントに配分していない全社費用等 278,082千円が含まれております。全社費用は、主に当社(持株会社)運営に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

重要性が乏しいため記載を省略しております。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間（自 2023年10月1日 至 2024年3月31日）

1．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

|                       | 報告セグメント        |                  |                        |            | 調整額<br>(注) 1 | 四半期連結<br>損益計算書<br>計上額<br>(注) 2 |
|-----------------------|----------------|------------------|------------------------|------------|--------------|--------------------------------|
|                       | エンジニア<br>リング事業 | プロダクト/<br>デバイス事業 | I C Tソ<br>リューション<br>事業 | 計          |              |                                |
| 売上高                   |                |                  |                        |            |              |                                |
| 外部顧客への売上高             | 6,763,088      | 4,519,238        | 1,331,632              | 12,613,959 | 1,630        | 12,615,589                     |
| セグメント間の内部売上高<br>又は振替高 | 17,305         | 18,616           | 24,745                 | 60,667     | 60,667       | -                              |
| 計                     | 6,780,394      | 4,537,855        | 1,356,377              | 12,674,627 | 59,037       | 12,615,589                     |
| セグメント利益               | 591,080        | 262,229          | 111,225                | 964,535    | 381,106      | 583,428                        |

(注) 1．セグメント利益の調整額 381,106千円には、のれんの償却額 90,687千円、各報告セグメントに配分していない全社費用等 290,419千円が含まれております。全社費用は、主に当社（持株会社）運営に係る費用であります。

2．セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2．報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間より、事業セグメントの区分方法を見直し、報告セグメントを従来の「ITソリューション事業」、「IoT/IoEソリューション事業」、「半導体トータルソリューション事業」の3区分から「エンジニアリング事業」、「プロダクト/デバイス事業」、「ICTソリューション事業」の3区分に変更しております。

当社は、当連結会計年度から開始した新中期経営計画「PCI-VISION2026」により、当社グループの事業ドメインについて見直しを行いました。具体的には、主力事業である受託ソフトウェア開発等の「エンジニアリング事業」と組込PC/コントローラ開発や半導体設計/テスト等の「プロダクト/デバイス事業」を事業ポートフォリオ上の安定コア事業と位置付け、AIやIoTに係るソリューション開発及びサービスインテグレーションを始めとする「ICTソリューション事業」を中長期的な成長ドライバーとして位置付けております。

この認識の下、セグメント毎の事業内容や戦略の明確化、経営資源の配分及び業績進捗をより適切に管理・開示するため、上記のように報告セグメントを変更することが合理的であると判断いたしました。

また、セグメントの内容変更を契機に、従来、各セグメントへ配賦しておりました当社からの経営指導料及びのれんの償却額について、セグメント別のパフォーマンスをより適切に評価する観点から経営管理上の取扱いを変更し、第1四半期連結会計期間より調整額の項目に含めて表示することといたしました。

なお、前第2四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の区分及び表示の方法により作成したものを記載しております。

3．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

重要性が乏しいため記載を省略しております。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報

前第2四半期連結累計期間(自 2022年10月1日 至 2023年3月31日)

(単位:千円)

| 区分            | 報告セグメント    |              |              |            |
|---------------|------------|--------------|--------------|------------|
|               | エンジニアリング事業 | プロダクト/デバイス事業 | ICTソリューション事業 | 計          |
| システム開発        | 5,414,019  | 1,249,464    | 636,303      | 7,299,787  |
| プロダクト         | 341,199    | 3,937,730    | 915,304      | 5,194,234  |
| サービス          | 484,342    | 146,821      | 973,681      | 1,604,846  |
| その他           | 150,133    | 46           | 9,547        | 159,726    |
| 顧客との契約から生じる収益 | 6,389,695  | 5,334,063    | 2,534,836    | 14,258,595 |
| 外部顧客への売上高     | 6,389,695  | 5,334,063    | 2,534,836    | 14,258,595 |

(注) 上記には企業会計基準第13号「リース取引に関する会計基準」に基づき認識される収益が含まれておりますが、金額的重要性が乏しいため、顧客との契約から生じる収益と区分表示していません。

当第2四半期連結累計期間(自 2023年10月1日 至 2024年3月31日)

(単位:千円)

| 区分            | 報告セグメント    |              |              |            | 調整額<br>(注)1 | 合計         |
|---------------|------------|--------------|--------------|------------|-------------|------------|
|               | エンジニアリング事業 | プロダクト/デバイス事業 | ICTソリューション事業 | 計          |             |            |
| システム開発        | 5,780,902  | 1,316,368    | 605,517      | 7,702,788  | -           | 7,702,788  |
| プロダクト         | 292,882    | 3,049,088    | 460,928      | 3,802,900  | -           | 3,802,900  |
| サービス          | 540,909    | 153,780      | 255,714      | 950,404    | -           | 950,404    |
| その他           | 148,394    | -            | 9,471        | 157,866    | -           | 157,866    |
| 調整額           | -          | -            | -            | -          | 1,630       | 1,630      |
| 顧客との契約から生じる収益 | 6,763,088  | 4,519,238    | 1,331,632    | 12,613,959 | 1,630       | 12,615,589 |
| 外部顧客への売上高     | 6,763,088  | 4,519,238    | 1,331,632    | 12,613,959 | 1,630       | 12,615,589 |

- (注) 1. 調整額は、純粋持株会社である当社で計上した受託業務に係る収益であります。
2. 上記には企業会計基準第13号「リース取引に関する会計基準」に基づき認識される収益が含まれておりますが、金額的重要性が乏しいため、顧客との契約から生じる収益と区分表示していません。
3. 第1四半期連結会計期間より、報告セグメントの区分を変更しております。詳細は、「注記事項(セグメント情報等)」をご参照ください。この変更に伴い、前第2四半期連結累計期間についても組替えを行っております。

## (1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

|   | 前第2四半期連結累計期間<br>(自 2022年10月1日<br>至 2023年3月31日) | 当第2四半期連結累計期間<br>(自 2023年10月1日<br>至 2024年3月31日) |
|---|--|--|
| 1株当たり四半期純利益   | 50円05銭   | 33円19銭   |
| (算定上の基礎)  |  |  |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益(千円)  | 503,861  | 330,453  |
| 普通株主に帰属しない金額(千円)  | -  | -  |
| 普通株式に係る親会社株主に帰属する<br>四半期純利益(千円)   | 503,861  | 330,453  |
| 普通株式の期中平均株式数(千株)  | 10,067   | 9,955  |
| 希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり<br>四半期純利益の算定に含めなかった潜在株式で、前連結<br>会計年度末から重要な変動があったものの概要 | -  | -  |

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため記載していません。

## (重要な後発事象)

該当事項はありません。

## 2 【その他】

2024年5月9日付取締役会決議において、当期中間配当に関し、次のとおり決定いたしました。

- (1) 配当金の総額 168,379千円
- (2) 1株当たりの金額 17円00銭
- (3) 支払請求の効力発生日及び支払開始日 2024年6月10日

(注) 2024年3月31日現在の株主名簿に記載された株主に対し、支払いを行います。

## 第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

## 独立監査人の四半期レビュー報告書

2024年5月13日

P C Iホールディングス株式会社  
取締役会 御中

三優監査法人

東京事務所

指定社員  
業務執行社員 公認会計士 増 田 涼 恵

指定社員  
業務執行社員 公認会計士 森 田 聡

### 監査人の結論

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているP C Iホールディングス株式会社の2023年10月1日から2024年9月30日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間(2024年1月1日から2024年3月31日まで)及び第2四半期連結累計期間(2023年10月1日から2024年3月31日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、P C Iホールディングス株式会社及び連結子会社の2024年3月31日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項が全ての重要な点において認められなかった。

### 監査人の結論の根拠

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。四半期レビューの基準における当監査法人の責任は、「四半期連結財務諸表の四半期レビューにおける監査人の責任」に記載されている。当監査法人は、我が国における職業倫理に関する規定に従って、会社及び連結子会社から独立しており、また、監査人としてのその他の倫理上の責任を果たしている。当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

### 四半期連結財務諸表に対する経営者及び監査等委員会の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

四半期連結財務諸表を作成するに当たり、経営者は、継続企業の前提に基づき四半期連結財務諸表を作成することが適切であるかどうかを評価し、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に基づいて継続企業に関する事項を開示する必要がある場合には当該事項を開示する責任がある。

監査等委員会の責任は、財務報告プロセスの整備及び運用における取締役の職務の執行を監視することにある。

### 四半期連結財務諸表の四半期レビューにおける監査人の責任

監査人の責任は、監査人が実施した四半期レビューに基づいて、四半期レビュー報告書において独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。

監査人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に従って、四半期レビューの過程を通じて、職業的専門家としての判断を行い、職業的懐疑心を保持して以下を実施する。



- ・ 主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対する質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続を実施する。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。
- ・ 継続企業の前提に関する事項について、重要な疑義を生じさせるような事象又は状況に関して重要な不確実性が認められると判断した場合には、入手した証拠に基づき、四半期連結財務諸表において、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、適正に表示されていないと信じさせる事項が認められないかどうか結論付ける。また、継続企業の前提に関する重要な不確実性が認められる場合は、四半期レビュー報告書において四半期連結財務諸表の注記事項に注意を喚起すること、又は重要な不確実性に関する四半期連結財務諸表の注記事項が適切でない場合は、四半期連結財務諸表に対して限定付結論又は否定的結論を表明することが求められている。監査人の結論は、四半期レビュー報告書日までに入手した証拠に基づいているが、将来の事象や状況により、企業は継続企業として存続できなくなる可能性がある。
- ・ 四半期連結財務諸表の表示及び注記事項が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠していないと信じさせる事項が認められないかどうかとともに、関連する注記事項を含めた四半期連結財務諸表の表示、構成及び内容、並びに四半期連結財務諸表が基礎となる取引や会計事象を適正に表示していないと信じさせる事項が認められないかどうかを評価する。
- ・ 四半期連結財務諸表に対する結論を表明するために、会社及び連結子会社の財務情報に関する証拠を入手する。監査人は、四半期連結財務諸表の四半期レビューに関する指示、監督及び実施に関して責任がある。監査人は、単独で監査人の結論に対して責任を負う。  
監査人は、監査等委員会に対して、計画した四半期レビューの範囲とその実施時期、四半期レビュー上の重要な発見事項について報告を行う。  
監査人は、監査等委員会に対して、独立性についての我が国における職業倫理に関する規定を遵守したこと、並びに監査人の独立性に影響を与えると合理的に考えられる事項、及び阻害要因を除去するための対応策を講じている場合又は阻害要因を許容可能な水準にまで軽減するためのセーフガードを適用している場合はその内容について報告を行う。

#### 利害関係

会社及び連結子会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

- 
- (注) 1. 上記の四半期レビュー報告書の原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。  
2. X B R Lデータは四半期レビューの対象には含まれていません。